

IX 野菜類の病害虫防除

1 野菜

アスパラガス

—— 発病・加害時期
 == 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	年 目			●	●	▲	▲						
2	年 目												
3	年 目 以 降												
立 茎 ・ 長 期 ど り		◇ ハウス保温 ◆								茎葉↓整理			
茎 枯 病	斑 点 病												
ハ ス モ ャ	ト ウ ム シ												

茎枯病

留意事項

- 1 梅雨期と秋雨期に発生が多い。
- 2 薬剤抵抗性が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。QoI剤(11)、SDHI剤(7)は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 無病苗を用いる。
- 2 発病株は完全に抜き取り処分する。
- 3 晩秋に茎葉を地際部から刈り取り、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 4 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1000倍 前日/4回】
 - ・ [ベルコート水和剤](#) M7 【1000倍 7日/5回】
 - ・ [コサイド3000](#) M1 【2000倍 -/-】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ベンレート水和剤](#) 1 【2000倍 前日/4回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2000倍 前日/4回】
 - ・ [アフエットフロアブル](#) 7 【2000倍 前日/4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

斑点病

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。QoI剤(11)、SDHI剤(7)は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 過繁茂を避け、風通しを良くする。
- 2 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1000倍 前日／4回】
 - ・ [ベルコート水和剤](#) M7 【1000倍 7日／5回】
 - ・ [コサイド3000](#) M1 【2000倍 -／-】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2000倍 前日／4回】
 - ・ [アフエットフロアブル](#) 7 【2000倍 前日／4回】
 - ・ [ロブラール水和剤](#) 2 【2000倍 前日／5回】

アブラムシ類

防除方法

- 1 ハウス開口部に目合い0.8mm以下の防虫ネットを展張し、侵入を防止する。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 4A 【4000倍 前日／2回】
 - ・ [ウララDF](#) 29 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3A 【2000倍 前日／3回】

コナジラミ類

防除方法

- 1 ハウス開口部に目合い0.4mm以下の防虫ネットを展張し、侵入を防止する。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [コルト顆粒水和剤](#) 9B 【4000倍 前日／3回】
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4A 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [モベントフロアブル](#) 23 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [ディアナSC](#) 5 【2500倍 前日／2回】

ハダニ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 13 【2000倍 前日／2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [コロマイト乳剤](#) 6 【1000倍 前日／2回】
- ・ [ダニサラバフロアブル](#) 2 5 A 【1000倍 前日／2回】

アザミウマ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 4 A 【4000倍 前日／2回】
 - ・ [ディアナSC](#) 5 【2500～5000倍 前日／2回】
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【5000倍 前日／2回】

ハスモンヨトウ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [カスケード乳剤](#) 1 5 【4000倍 前日／2回】
 - ・ [ディアナSC](#) 5 【2500～5000倍 前日／2回】
 - ・ [アファーム乳剤](#) 6 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [BT剤](#) 1 1 A (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

ヨトウムシ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アファーム乳剤](#) 6 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [BT剤](#) 1 1 A (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。